

上越教育大学学部スタンダード

(令和6年度在学生から適用)

事項	I 教職に必要な素養に関する事項	II 学習指導に関する事項	III 生徒指導・学級経営に関する事項	IV 特別支援教育に関する事項	V ICT活用指導力に関する事項
A 理論	新しい時代における教育、学校及び教職の意義や社会的役割・服務等を理解することに努めるとともに、教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子供から学び、共に成長しようとする姿勢が身に付いている。	学習指導要領や教科書の内容の理解、教科等の専門的知識や技能など学習指導に必要な基本的事項を身に付けている。	生徒指導の意義や原理を理解し、子供に対して公平かつ受容的・共感的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	特別支援教育の目的や意義、特別な配慮や支援を必要とする子供の特性等を理解し、組織的に対応するために必要となる基本的な知識や支援の方法を身に付けている。	ICT活用の基本となる新しい知識(情報モラル・情報セキュリティを含む)を理解しており、基本的なアプリケーションを用いて、文書を作成したり、データを処理したりすることができる。
B 実践	高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職責を果たすことができる。また、危機管理の知識や視点を持ち、子供の成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。	子供の反応や学習の定着状況に応じて、授業計画や学習形態等を工夫することができる。また、板書、話し方、表情など授業を行う上での基本的な表現力を身に付けている。	子供の発達段階や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導や学級経営を実践することができる。	特別な配慮や支援を必要とする子供一人一人の教育的ニーズに応じて、指導目標や指導内容を計画し、指導方法を工夫することができる。	ICTを活用して教材を作成したり、資料を提示したりして、授業を行うことができる。デジタルとアナログの長所短所について理解し、授業内容によって使い分けることができる。
C 協働	豊かな人間性や人権意識を持ち、保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。また、地域社会の一員として地域や学校の各種行事やボランティア等に参加し、その責務を果たすことができる。	他者と協働しながら自らの授業実践を振り返ることができるとともに、他者の実践からも学び、自ら授業改善を図るなど、反省的実践を営む基本的な姿勢を身に付けている。	子供との間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、規律ある学級経営を行うことができる。また、他の学級担任と協力しながら組織的な生徒指導を行うことができる。	特別な配慮や支援を必要とする子供の指導・支援について、他の教職員と協力して実践することができる。	複数名で同時共同編集を活用した学習活動を行うことができる。また、同時共同編集機能を用いた授業を行うことができる。
D リーダーシップ・経営	学校組織マネジメントの意義を理解した上で、限られた時間や資源を効果的に用いつつ、組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して職務を遂行することができる。	全体計画及び年間指導計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、教育活動を創造し、展開するための基本的事項を身に付けている。	学級の子供の実態や学校の教育課題を踏まえて、結果や成果を意識しながら学級経営の評価・改善を率先して行うことができる。	特別な配慮や支援を必要とする子供への合理的配慮の提供について理解し、組織の一員として一役を担うことができる。	新しい情報技術について興味を持ち、教育利用への利点と欠点に着目して、各学校におけるICT利活用の推進に向けて取り組むことができる。